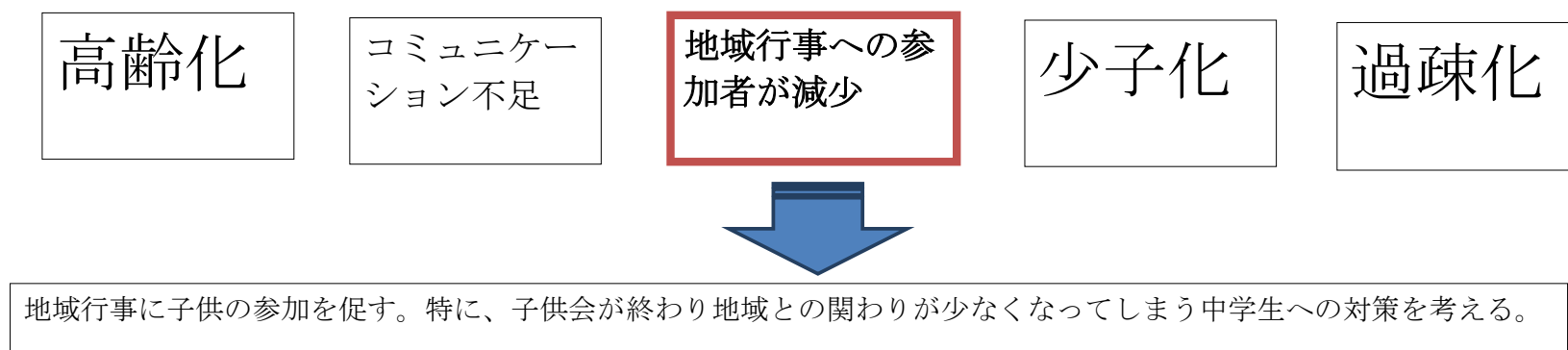


地域コミュニティの活性化

C班：小林春男、田中聡、佐藤健太郎
今井不二子、吉田実、増田和昭

暮らしやすい地域を作っていくためには、物質的な対処だけではなく、人と人とのつながり重要であり、地域コミュニティの重要性が近年論議されています。しかし、一言で地域コミュニティといっても、対処すべき問題や体制づくりは様々であり、地域ごとの特性やコミュニティの状況に合わせた対策が必要です。漠然と地域コミュニティの活性化を取り組もうとすると、何から手をつけていいのかわからず、第一歩が踏み出せなくなってしまいます。

まず課題を整理し、一つの分野に的を絞って、課題解決に向けたプロセスを実行していくことが重要であると考えます。



- これからの地域を担う子供たちを大切に、故郷での思い出をたくさん作り、地域の歴史や特性を知ってもらいたい。
- 故郷を離れても住んでいた地域に誇りを持ち、故郷の自慢話ができる子供を地域の力を合わせて育みたい。
- そんな思いでこのテーマを取り上げ具体的な対策を考えていきました。



子供の参加

町内	課題
	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントに中学生の参加が少ない ・中学生になると町内運動会に出なくなる ・子供の参加協力が無い為ファミリー綱引きに参加できない町内がある ・中学生、高校生にとって興味ある町内行事がない ・地域と子供達が触れ合う機会が少ない ・町内での中学生、高校生の役割が不明確 ・中学生の子供会が無い ・賽の神づくり、飾り集めに子供が関わらなくなっている ・日常から大人と子供の交流が無い

子ども参加の意義

- ・地域ぐるみの子育て
- ・子ども間での思いやり精神の醸成
- ・付き合い方の練習の場
- ・地域への思いの醸成
- ・地域での生活経験

解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの企画を子供にしてもらい、大人はサポート役に徹する ・子供を巻き込むイベント(ボランティア、祭り、運動会など)を行う ・良い事例の水平展開をする ・近隣他町内との連携を行う

阻害要因
<ul style="list-style-type: none"> ・企画者がいない ・仕掛け人がいない ・住民や役員の理解不足

家庭	課題
	<ul style="list-style-type: none"> ・核家族化で親によって子供の人格形成に大きな影響がある ・核家族化で両親が働いている為、親子のふれあいが少ない ・核家族化で先人の知恵が伝わらない ・親の価値観を子供に押し付けている ・親のコミュニティ意識や地域意識がうすい ・親が干渉し過ぎて、子供の自由が無い ・親が手を出しすぎ ・親の価値観がワンパターンではないか ・親が勉強中心に考えている ・子供の自由度が無い ・子供は習い事や塾で忙しい

解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・子供達に親の価値観を押し付けない ・家庭でイベントの参加ついて話し合う ・共同生活を経験させる ・他人の家庭生活を経験させる ・三世代家族化にしていく、祖父母も子供を教育(躾)をする ・家族間でのコミュニケーションを多くする ・地域とのふれあいを大切にする

阻害要因
<ul style="list-style-type: none"> ・親の価値感 ・親の過保護 ・親の過干渉 ・生活パターンの多様化

学校	課題
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の継続性が無い ・中学生は夕方、休日は部活で忙しい ・子供は学校の部活動を優先している ・教師が部活を休んで良いと言うが、生徒は仲間との関係で休まない

解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・課外授業を増やす ・課外授業として地域の学習をする ・イベントがある時、学校の部活動を休みにする ・学校の一授業としてイベントに参加する ・コミュニティスクールの活用

阻害要因
<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域との連携不足 ・仕掛け人がいない ・学校の意識不足